

検証 どうなった

あの一^{ゆく}般^え質問の行方は

本町奨学金の見直しについて
現在の額は平成5年3月に改正している。今の経済状況から見て奨学金の貸与額の見直しの考えはないか。なお、母子家庭に対する枠設定はできないか。

平成21年 3月定例会質問
宮本 昭一 議員

教育長答弁

今後検討する
今の額で広く奨学生を募り貸与するか、額を引き上げて枠を絞るか、新たな提案も含めて検討する。

教育長答弁

どうなった

さらに検討
奨学金は、経済情勢が悪化するなか、増額については検討中でありましたが、返済時の負担増にもなることから、今後検討を重ね、当分の間、現状のままとすることとした。また、母子家庭については、現在のところ基金で運用が可能のため、設けていない。

管理課所管

畜産振興資金の均等償還の考え方について
償還については一括償還となっているが、経営拡大を目指す若い担い手については、貸与年数による均等償還はできないか。

平成20年 6月定例会質問
吉原 信雄 議員

町長答弁

今後検討する
畜産後継者も増えて、認定農業者も経営改善計画に従い導入を進めている。
資金を借りて5年目で一括償還は今の不安定な価格状況からすると、厳しいものがあるので今後検討する。

町長答弁

どうなった

規則を改正
現在設定している償還期限を越えての償還となると基金の残高不足が予想されるので、原則として、今後も償還期間内の一括償還とする。ただし、貸付申請時にご相談いただければ、償還期間内での均等償還を行うことができるよう規則を改正した。

農林振興課所管

※ 過去の定例会での一般質問の中から一部をピックアップして、その後、どのように町政に反映されたかを検証します。